

平成29年度  
第6回インターネット都政モニター

「東京の路上工事の現状」

調査結果



## 調査実施の概要

- 1 アンケートテーマ  
「東京の路上工事の現状」
- 2 アンケート目的  
現行の路上工事対策「五箇年計画」の終了に伴い、平成30年度以降の新たな路上工事対策に関する計画策定等にあって参考とするため実施する。
- 3 アンケート期間  
平成30年1月10日（水）12時から 平成30年1月16日（火）17時まで
- 4 アンケート方法  
インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答を入力する。
- 5 インターネット都政モニター数  
500人
- 6 回答者数  
462人
- 7 回答率  
92.4%

# 東京都の広報紙「広報東京都」

## 1 調査項目

- Q 1 路上工事件数の印象
- Q 2 多いと感じる路上工事
- Q 3 車の利用状況
- Q 4 路上工事に対してよくなったと感じた点
- Q 5 路上工事に対して不満を感じた点
- Q 6 路上工事に対する不満の頻度
- Q 7 不満を感じた路上工事現場
- Q 8 不満や不便を解消するための有効な対策
- Q 9 知っている路上工事対策
- Q 10 路上工事の情報収集
- Q 11 路上工事看板・事業説明看板
- Q 12 路上工事の周知チラシ
- Q 13 路上工事の目的の認知度
- Q 14 繁忙期の路上工事の抑制
- Q 15 同一箇所掘り返しの抑制効果
- Q 16 今後の路上工事
- Q 17 路上工事に関して（自由意見）

## 2 アンケート回答者属性

		モニター 人 数	回 答		
			人 数	構成比	率
全 体		500	462	-	92.4
性 別	男 性	250	228	49.4	91.2
	女 性	250	234	50.6	93.6
年 代 別	18・19歳	8	7	1.5	87.5
	20 代	67	60	13.0	89.6
	30 代	88	77	16.7	87.5
	40 代	100	88	19.0	88.0
	50 代	72	67	14.5	93.1
	60 代	84	83	18.0	98.8
	70歳以上	81	80	17.3	98.8
職 業 別	自営業	44	42	9.1	95.5
	常 勤	182	158	34.2	86.8
	パート・アルバイト	48	45	9.7	93.8
	主 婦	90	84	18.2	93.3
	学 生	34	32	6.9	94.1
	無 職	102	101	21.9	99.0
居住地域別	東京都区部	346	318	68.8	91.9
	東京都市町村部	154	144	31.2	93.5

※ 集計結果は百分率（%）で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。

そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※ n（number of cases）は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

※ 複数回答方法・・・(MA) =いくつでも選択、(3MA) =3つまで選択

道路には、ガードレール、道路標識、街灯などの道路付属物のほか、上下水道管や電力ケーブル、ガス管などの各種ライフライン施設が埋設されており、その整備や維持・管理のために日々路上工事が行われています。

東京都では、路上工事に係る道路交通の円滑化を図るため、国、警視庁及びライフライン事業者等と東京都道路工事調整協議会（以下協議会という）を組織し、国道・都道の路上工事が計画的に行われるよう調整を行っています。

また、平成10年度から、路上工事対策「五箇年計画」を4回策定し、都内の国道・都道における路上工事の抑制などの取組を行ってきました。現行の計画期間が平成29年度で終了することから、より一層の路上工事の改善を実現するため、平成30年度以降の路上工事対策の計画について検討しています。

今回のアンケート調査は、新たな路上工事対策に関する計画策定等にあたって参考とするため、都内における国道・都道の路上工事全般（災害復旧工事を除く）に関することについて、モニターの皆さまにご意見をいただきます。

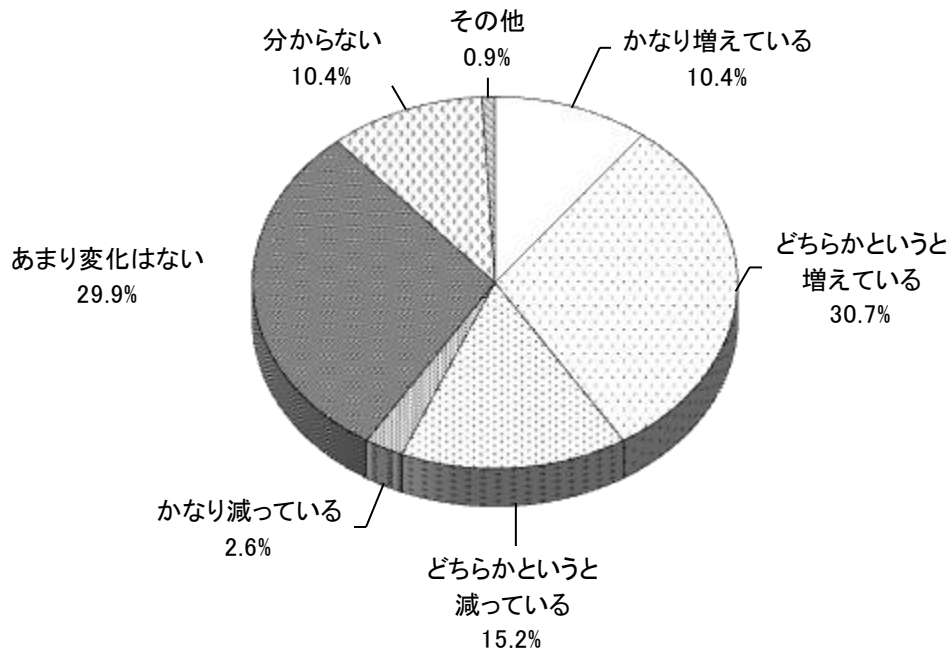


地下鉄改良工事に伴う路上工事

## 路上工事件数の印象

Q1 あなたは現在の路上工事の件数について、ここ5年程度で変化を感じますか。

(n=462)



### 【調査結果の概要】

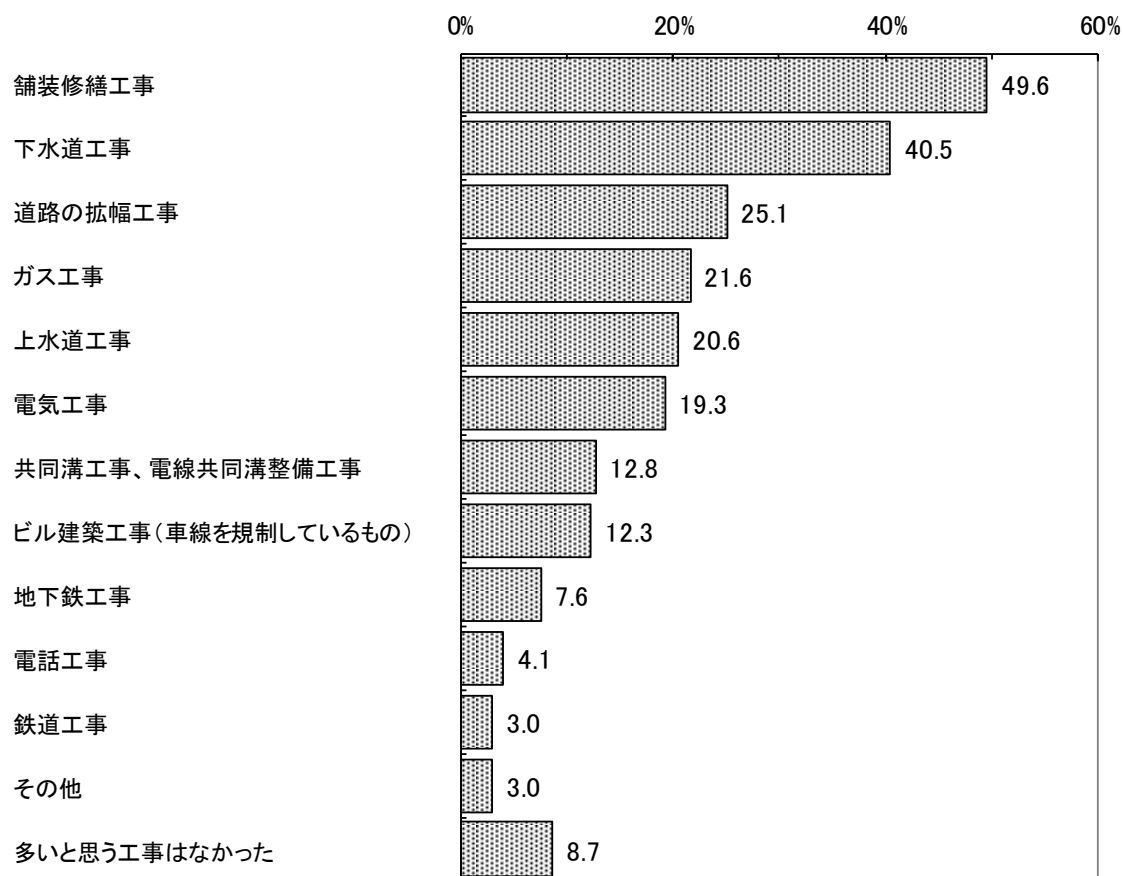
路上工事件数の変化を感じているか聞いたところ、『増えている』(41.1%) (「どちらかという増えている」(30.7%)、「かなり増えている」(10.4%))は約4割であり、『減っている』(17.8%) (「どちらかという減っている」(15.2%)、「かなり減っている」(2.6%))は、2割近くとなっている。

なお、「あまり変化はない」(29.9%)は、3割近くとなっている。

## 多いと感じる路上工事

Q2 あなたが特に多いと思われる路上工事の種類は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

(3MA) (n=462)



※ 共同溝とは、都市生活に必要不可欠な電気、電話、ガス、水道、下水道などを道路の地下にまとめて収容する施設。都市景観の向上に加え、震災時には収容施設の損傷防止等の効果がある。

電線共同溝とは、地上の電柱や上空の電線を、地下空間に収容するための施設。都市景観の向上に加え、震災時には電柱の倒壊を防ぐとともに、電線類の被災を軽減する効果がある。

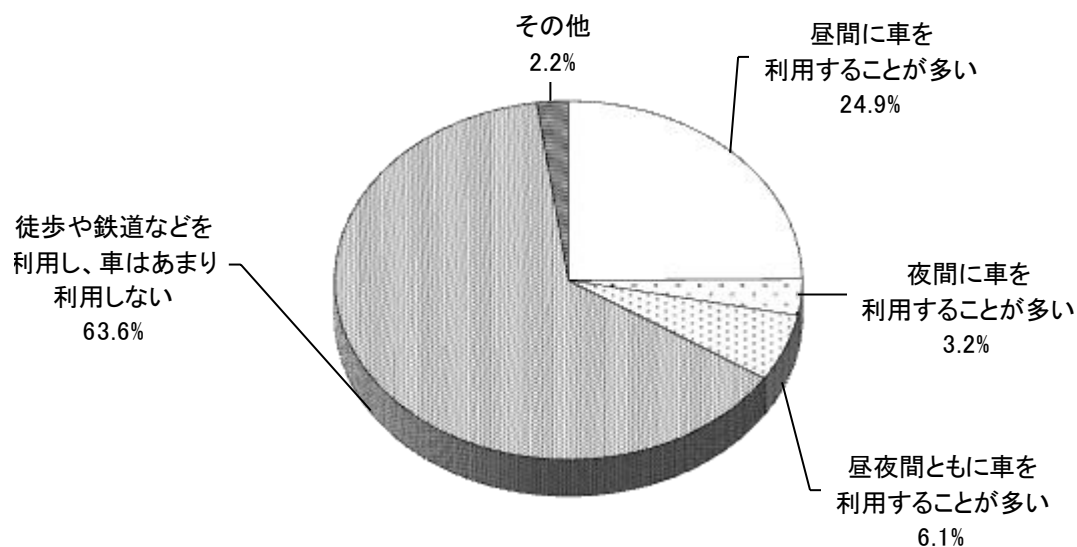
### 【調査結果の概要】

特に多いと思われる路上工事を聞いたところ、「舗装修繕工事」(49.6%)が5割近く、「下水道工事」(40.5%)は約4割で上位となっており、以下、「道路の拡幅工事」(25.1%)、「ガス工事」(21.6%)、「上水道工事」(20.6%)、「電気工事」(19.3%)などと続いている。

## 車の利用状況

Q3 あなたは都内の移動で車（バイク、バス、タクシーなど含む）を利用する場合、最も利用することが多い状況はいつですか。

(n=462)



※ 本調査の昼間とは6時から21時まで、夜間とは21時から翌朝6時までの間

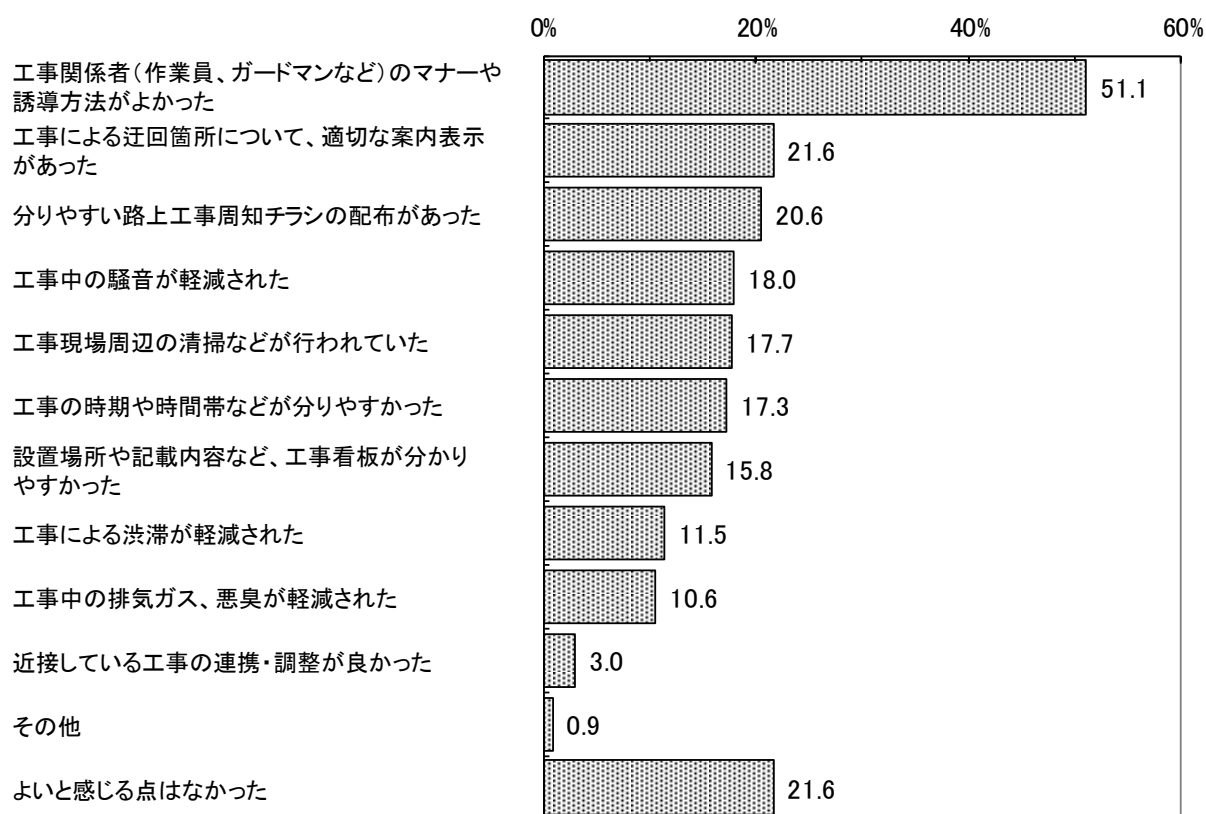
### 【調査結果の概要】

移動で車を利用することが多い状況はいつか聞いたところ、「歩行や鉄道などを利用し、車はあまり利用しない」（63.6%）が約6割で最も高く、以下、「昼間に車を利用することが多い」（24.9%）、「昼夜間ともに車を利用することが多い」（6.1%）、「夜間に車を利用することが多い」（3.2%）と続いている。

## 路上工事に対してよくなったと感じた点

Q4 あなたは路上工事について、この5年ほどの間でどのような点がよくなったと感じましたか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

(MA) (n=462)



### 【調査結果の概要】

路上工事に対してよくなったと感じた点を聞いたところ、「工事関係者（作業員、ガードマンなど）のマナーや誘導方法がよかった」（51.1%）が約5割で最も高く、以下離れて、「工事による迂回箇所について、適切な案内表示があった」（21.6%）、「分りやすい路上工事周知チラシの配布があった」（20.6%）、「工事中の騒音が軽減された」（18.0%）、「工事現場周辺の清掃などが行われていた」（17.7%）、「工事の時期や時間帯などが分りやすかった」（17.3%）などと続いている。

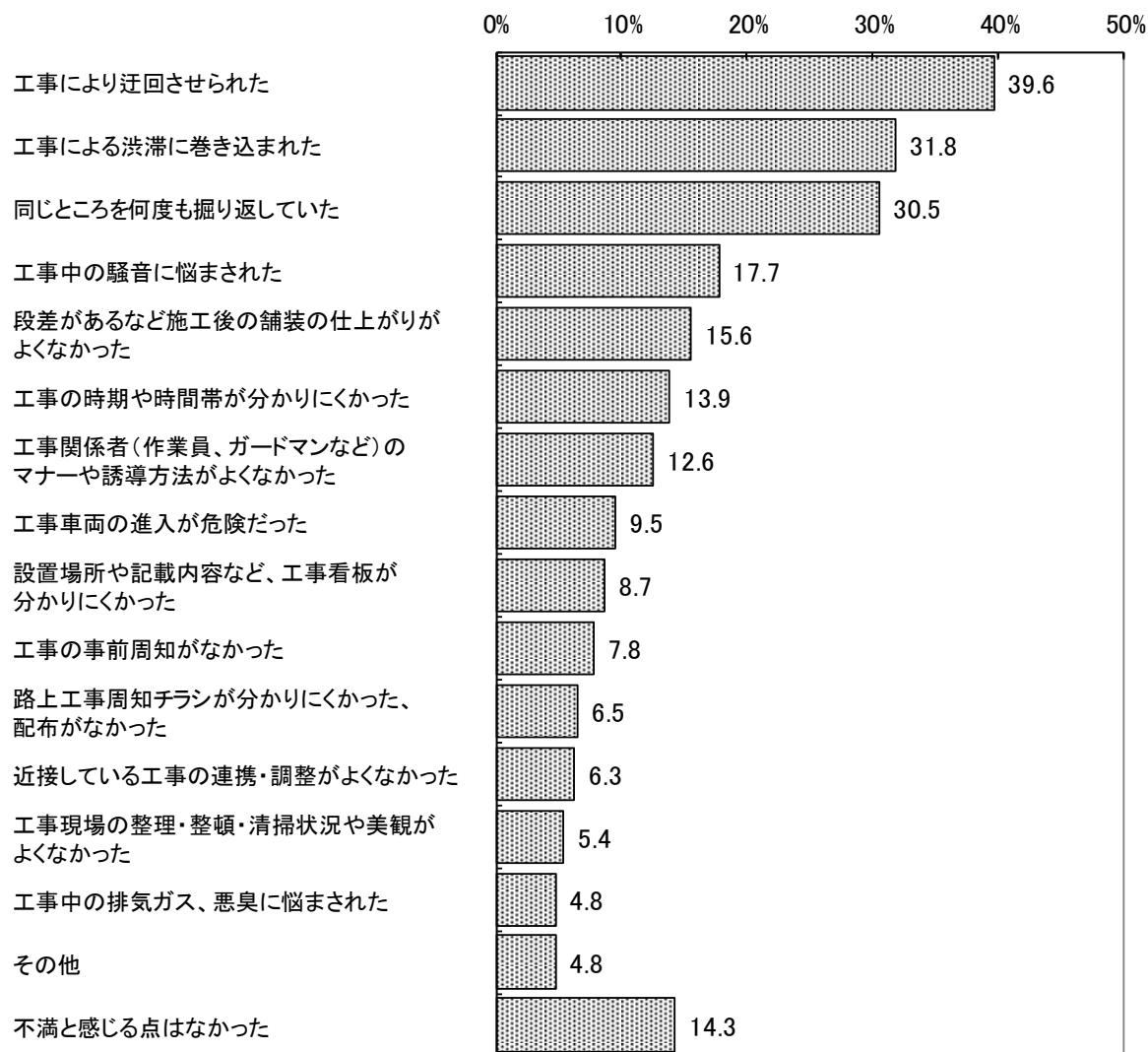
なお、「よいと感じる点はなかった」（21.6%）は、約2割となっている。



## 路上工事に対して不満を感じた点

Q5 あなたは路上工事について、この5年ほどの間でどのような点が不満と感じましたか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

(MA) (n=462)



### 【調査結果の概要】

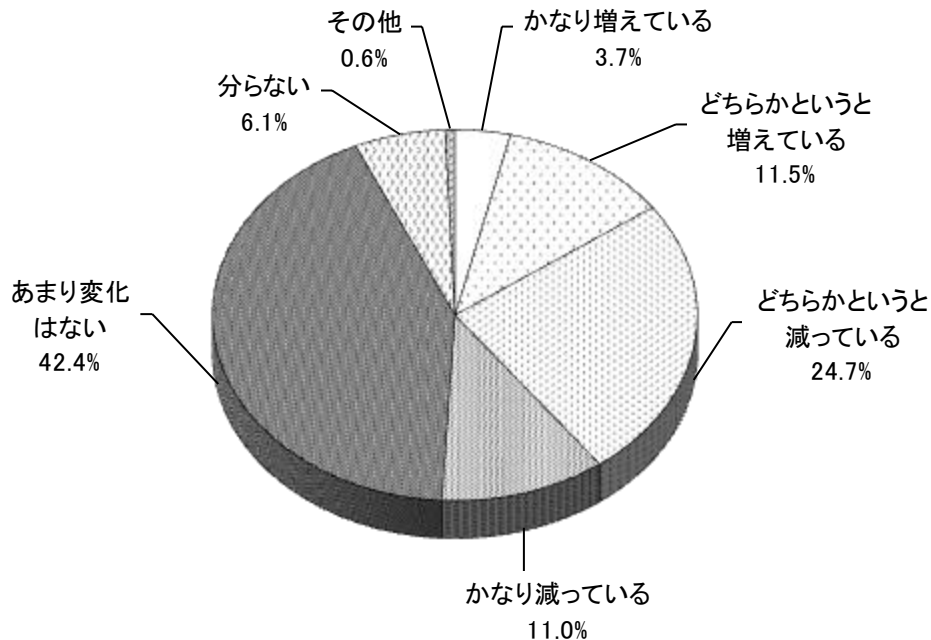
路上工事に対して不満を感じた点を聞いたところ、「工事により迂回させられた」(39.6%)、「工事による渋滞に巻き込まれた」(31.8%)、「同じところを何度も掘り返していた」(30.5%)が、いずれも3割を超えて上位となっており、以下、「工事中の騒音に悩まされた」(17.7%)、「段差があるなど施工後の舗装の仕上がりがよくなかった」(15.6%)、「工事の時期や時間帯が分かりにくかった」(13.9%)、「工事関係者(作業員、ガードマンなど)のマナーや誘導方法がよくなかった」(12.6%)などと続いている。

なお、「不満と感ずる点はなかった」(14.3%)は、約1割となっている。

## 路上工事に対する不満の頻度

Q6 あなたは5年前と比較すると、路上工事に対して不満を覚えた頻度が増えましたか。

(n=462)



### 【調査結果の概要】

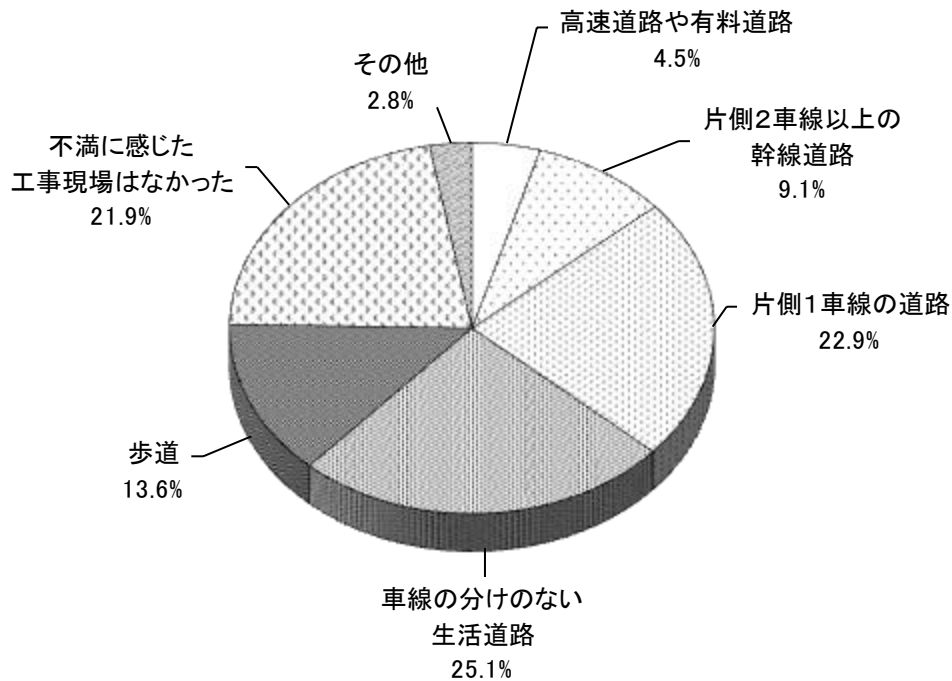
5年前と比較して路上工事に対する不満の頻度を聞いたところ、『減っている』(35.7%) (「どちらかというが減っている」(24.7%)、「かなり減っている」(11.0%))が4割近く、『増えている』(15.2%) (「どちらかというが増えている」(11.5%)、「かなり増えている」(3.7%))は2割近くとなっており、減っているが上回った。

なお、「あまり変化はない」(42.4%)は、約4割で最も高くなっている。

## 不満を感じた路上工事現場

Q7 あなたがこの5年ほどの間で最も不満を感じた路上工事の現場はどこでしたか。

(n=462)



### 【調査結果の概要】

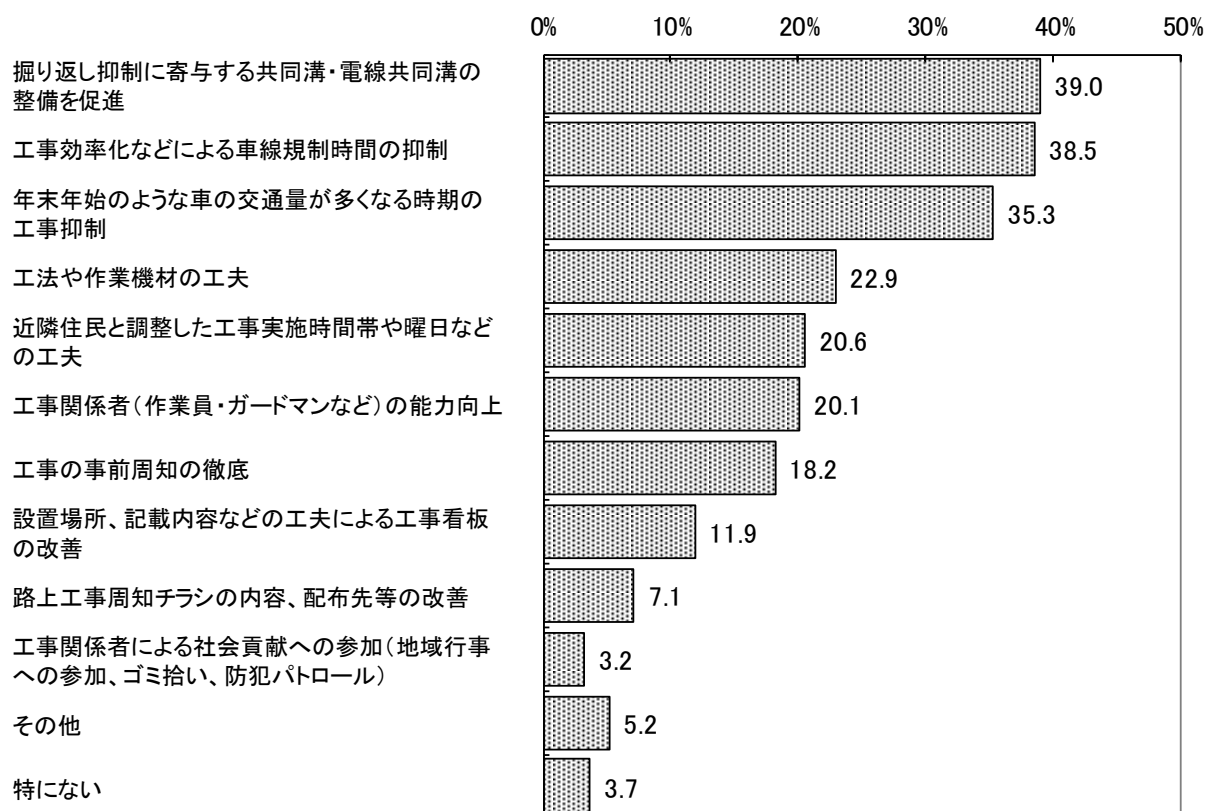
最も不満を感じた路上工事の現場はどこか聞いたところ、「車線の分けのない生活道路」(25.1%)、「片側1車線の道路」(22.9%) が共に2割を超えて上位となっており、以下、「歩道」(13.6%)、「片側2車線以上の幹線道路」(9.1%)、「高速道路や有料道路」(4.5%) と続いている。

なお、「不満を感じた工事現場はなかった」(21.9%) は、約2割となっている。

## 不満や不便を解消するための有効な対策

Q8 あなたは、路上工事を原因とした不満や不便を解消するために、どのような対策がとられるとよいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

(3MA) (n=462)



### 【調査結果の概要】

路上工事を原因とした不満や不便を解消する対策を聞いたところ、「掘り返し抑制に寄与する共同溝・電線共同溝の整備を促進」(39.0%)、「工事効率化などによる車線規制時間の抑制」(38.5%)、「年末年始のような車の交通量が多くなる時期の工事抑制」(35.3%)が、何れも3割を超えて上位となっており、以下、「工法や作業機材の工夫」(22.9%)、「近隣住民と調整した工事実施時間帯や曜日などの工夫」(20.6%)、「工事関係者(作業員・ガードマンなど)の能力向上」(20.1%)、「工事の事前周知の徹底」(18.2%)などと続いている。

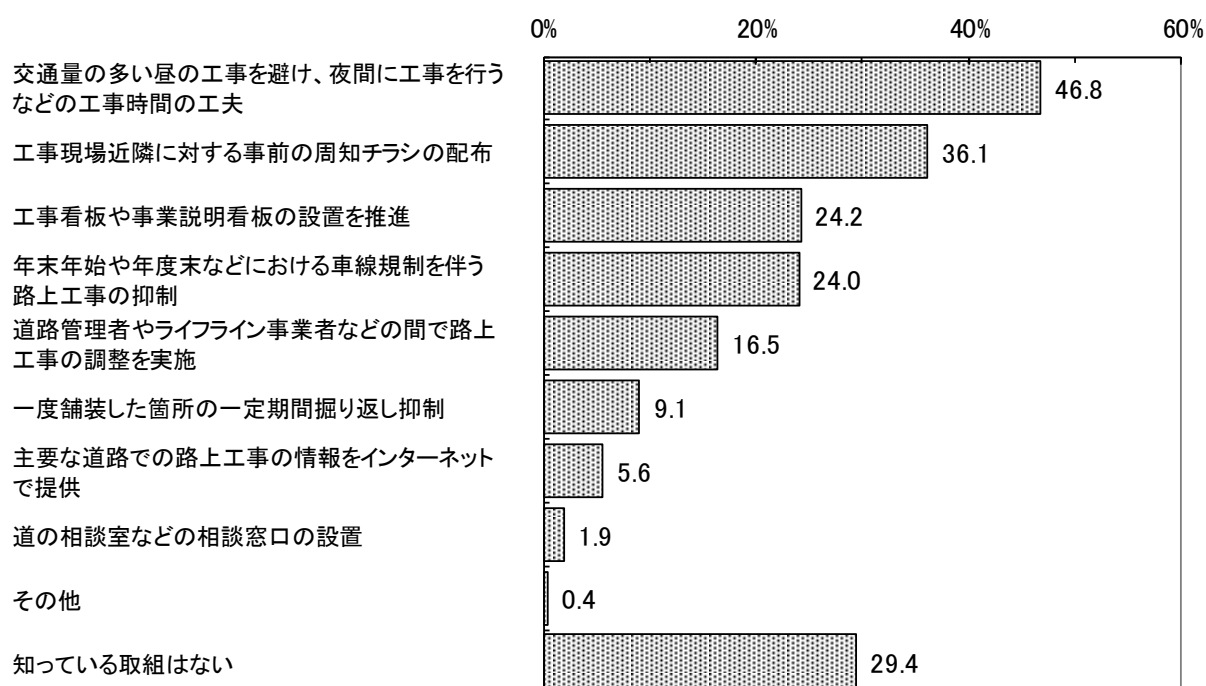
## 知っている路上工事対策

Q9 あなたは、交通渋滞の解消や掘り返し防止など、路上工事の改善のために、道路管理者やライフライン事業者などが行っている対策を知っていますか。次の中から知っている対策をすべて選んでください。

※ 道路管理者の主たる組織（Q15も同じ）

国道：東京国道事務所（国土交通省）、都道：東京都建設局

(MA) (n=462)



### 【調査結果の概要】

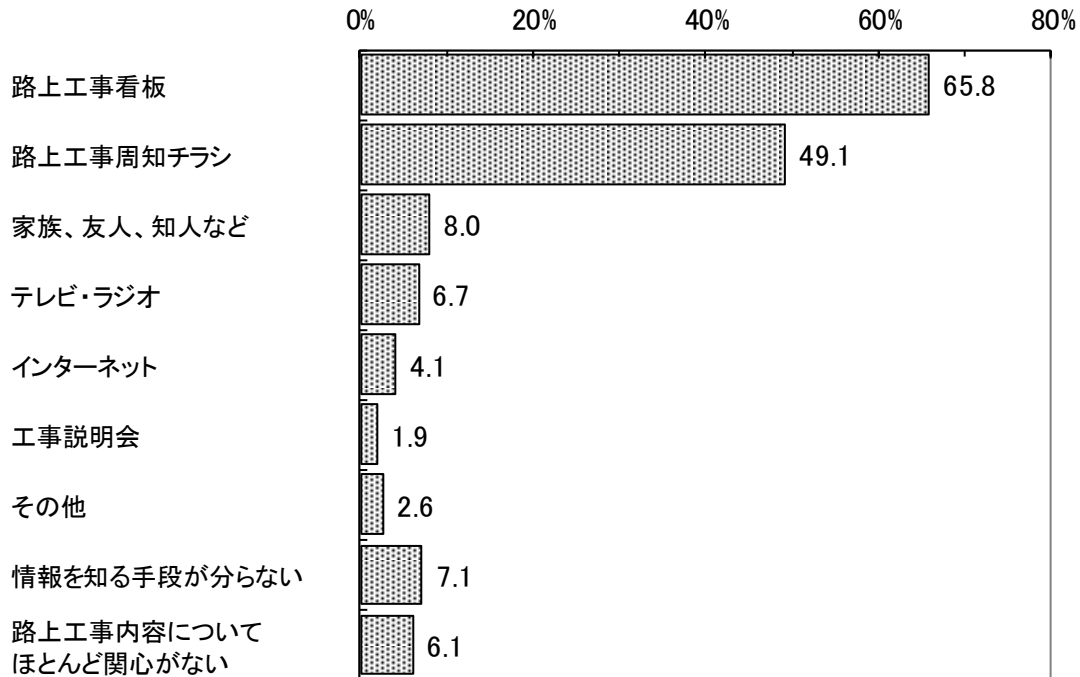
交通渋滞の解消や掘り返し防止などの路上工事対策を聞いたところ、「交通量の多い昼の工事を避け、夜間に工事を行うなどの工事時間の工夫」(46.8%)が5割近くで最も高く、以下、「工事現場近隣に対する事前の周知チラシの配布」(36.1%)、「工事看板や事業説明看板の設置を推進」(24.2%)、「年末年始や年度末などにおける車線規制を伴う路上工事の抑制」(24.0%)などと続いている。

なお、「知っている取組はない」(29.4%)は、3割近くとなっている。

## 路上工事の情報収集

Q10 あなたは、路上工事内容に関する情報をどこで知ることが多いですか。次の中から3つまで選んでください。

(3MA) (n=462)



### 【調査結果の概要】

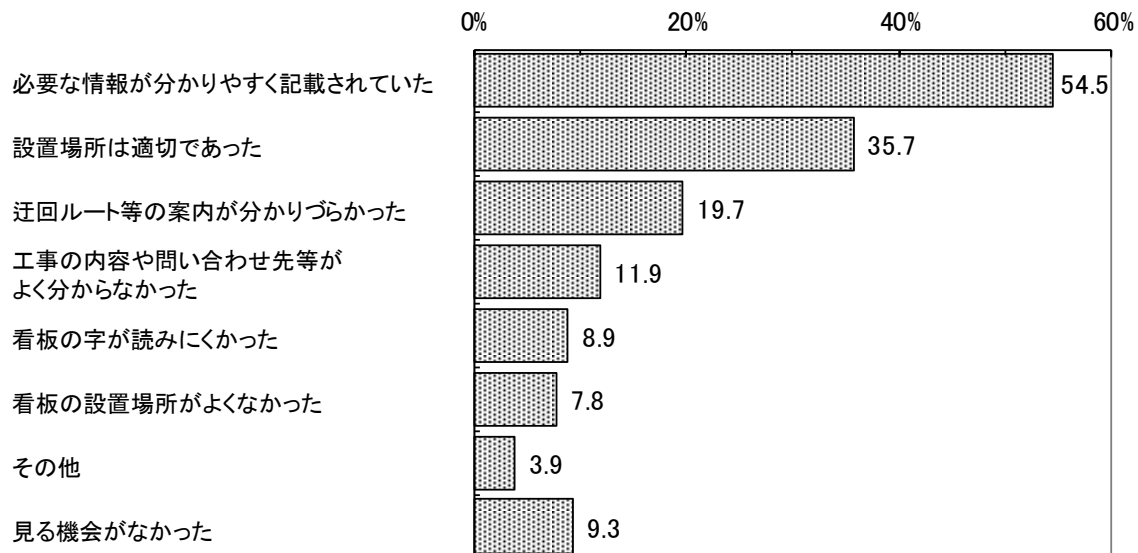
路上工事情報をどこで知ることが多いか聞いたところ、「路上工事看板」(65.8%)が7割近く、「路上工事周知チラシ」(49.1%)は5割近くで、主たる情報収集源となっている。



## 路上工事看板・事業説明看板

Q11 協議会では、分かりやすい路上工事看板や事業説明看板等の設置に取り組んでいます。あなたは、これらの工事看板等についてどう思いましたか。ここ1年ほどの間の印象であてはまるものを次の中からすべて選んでください。

(MA) (n=462)



### 【調査結果の概要】

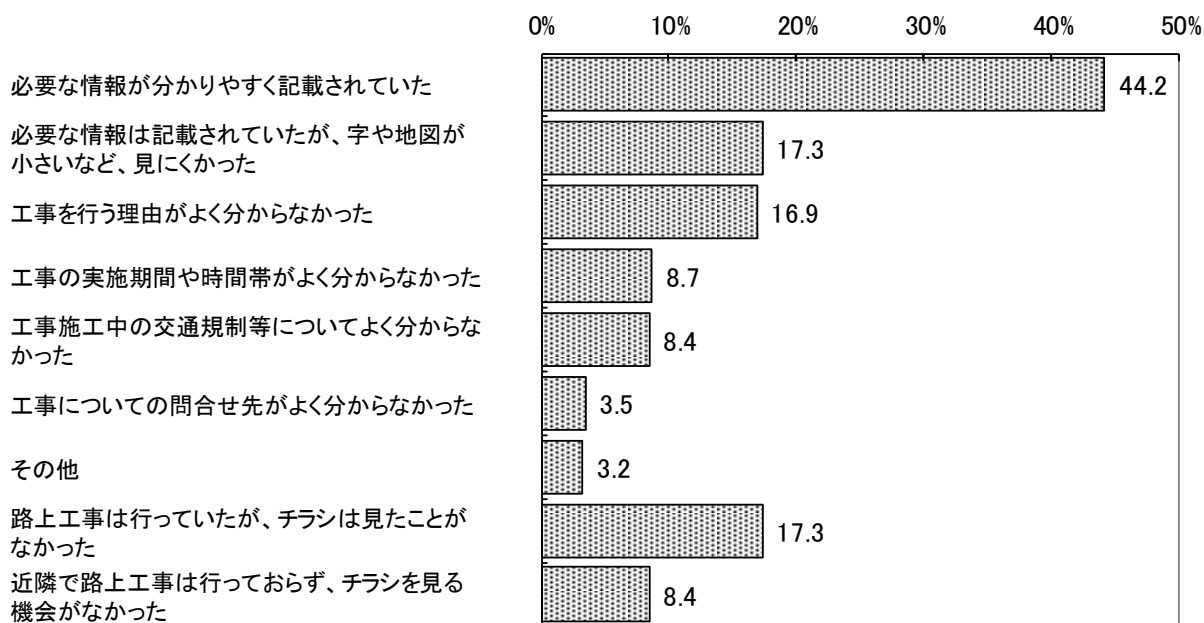
路上工事看板や事業説明看板等の印象を聞いたところ、「必要な情報が分かりやすく記載されていた」(54.5%)が約5割で最も高く、以下、「設置場所は適切であった」(35.7%)、「迂回ルート等の案内が分かりづらかった」(19.7%)、「工事の内容や問い合わせ先等がよく分からなかった」(11.9%)などと続いている。



## 路上工事の周知チラシ

Q12 協議会では、近隣の方などに工事情報を提供するために、分かりやすい路上工事周知チラシを作成する取組を行っています。あなたは、路上工事周知チラシを見てどう思いましたか。ここ1年ほどの間の印象であてはまるものを次の中からすべて選んでください。

(MA) (n=462)



### 【調査結果の概要】

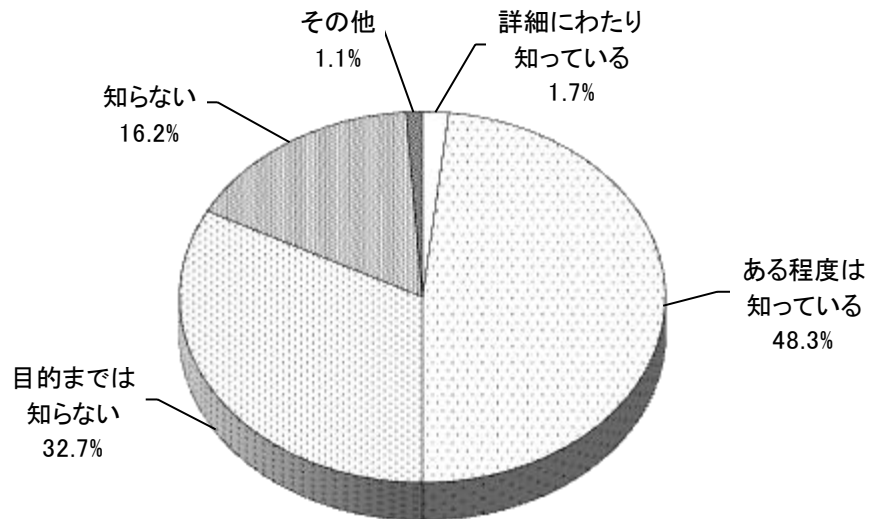
路上工事周知チラシの印象を聞いたところ、「必要な情報が分かりやすく記載されていた」(44.2%)が約4割で最も高く、以下離れて、「必要な情報は記載されていたが、字や地図が小さいなど、見にくかった」(17.3%)、「工事を行う理由がよく分からなかった」(16.9%)などと続いている。



## 路上工事の目的の認知度

Q13 路上工事が施工される場合、工事看板、周知チラシ等により工事情報をお知らせしています。あなたは、お住まいの地区で施工される路上工事の目的について、どの程度知っていますか。

(n=462)



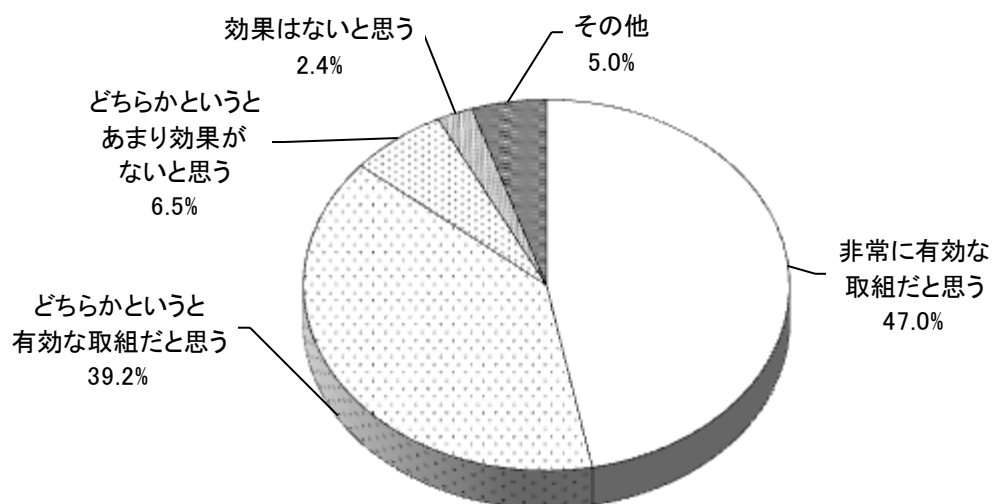
### 【調査結果の概要】

居住地区で施行される路上工事の目的を知っているか聞いたところ、『知っている』(50.0%) (「ある程度は知っている」(48.3%)、「詳細にわたり知っている」(1.7%)) が5割ちょうどで、『知らない』(48.9%) (「目的までは知らない」(32.7%)、「知らない」(16.2%)) は5割近くで、ほぼ同じ割合となっている。

## 繁忙期の路上工事の抑制

Q14 都内では、交通渋滞の低減などを目的として、繁忙期である年末年始、年度末（3月）、ゴールデンウィーク及び旧盆期の路上工事を抑制していますが、あなたはこの取組についてどう思いますか。

(n=462)



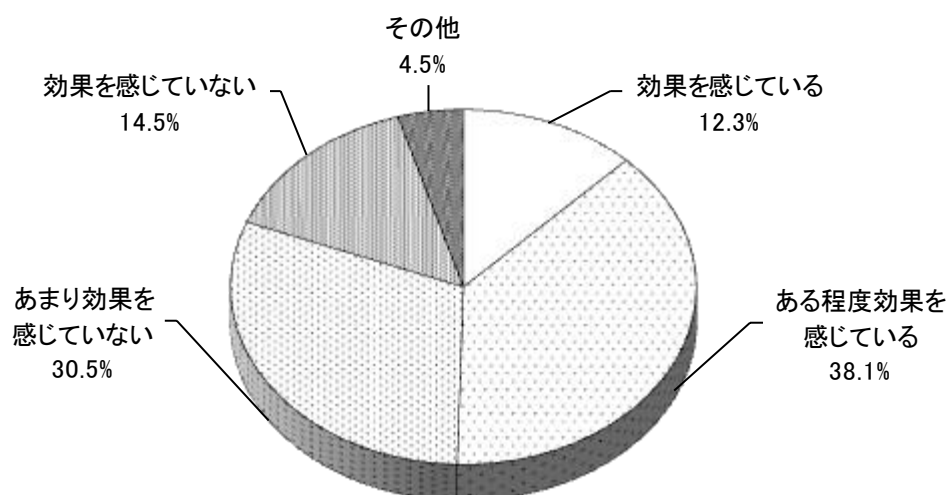
### 【調査結果の概要】

繁忙期の路上工事の抑制について聞いたところ、『有効な取組』（86.2%）（「非常に有効な取組だと思う」（47.0%）、「どちらかという有効な取組だと思う」（39.2%））との回答が9割近くとなっている。

## 同一箇所掘り返しの抑制効果

Q15 道路管理者は、道路の新設や補修、ライフラインの工事などで新たに舗装を行った場合、沿道の方への配慮や道路の損傷防止のため、その箇所について一定期間掘り返しの抑制を行っています。あなたはこの取組について効果を感じていますか。

(n=462)



### 【調査結果の概要】

同一箇所の掘り返し抑制効果を感じているか聞いたところ、『感じている』(50.4%) (「ある程度効果を感じている」(38.1%)、「効果を感じている」(12.3%))が約5割で、『感じていない』(45.0%) (「あまり効果を感じていない」(30.5%)、「効果を感じていない」(14.5%))は5割近くで、ほぼ同じ割合となっている。

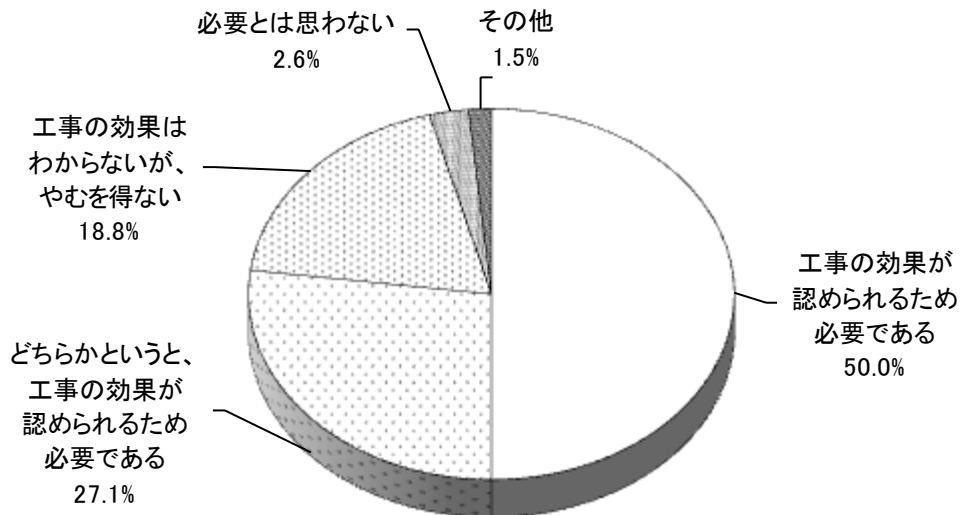
## 今後の路上工事

Q16 インフラ施設の耐震化工事や老朽化等に伴う工事の増加が見込まれています。  
あなたはこのような工事の増加についてどう思いますか。

※ インフラ施設の耐震化工事や老朽化等に伴う工事

水道管の耐震化工事や下水道管・ガス管の老朽化対策工事、電線地中化工事など

(n=462)



### 【調査結果の概要】

インフラ施設の工事増加について聞いたところ、『効果が認められるため必要』(77.1%)  
 (「工事が認められるため必要である」(50.0%)、「どちらかという、工事が効果が認められるため必要である」(27.1%)) が8割近くとなっている。

なお、「工事の効果はわからないが、やむを得ない」(18.8%) が2割近くで、「必要とは思わない」(2.6%) は少数となっている。

## 路上工事に関して（自由意見）

Q17 路上工事全般や路上工事対策の取組について、あなたの考えをご自由にお書きください。

(n=409)

- |                      |       |
|----------------------|-------|
| (1) 路上工事全般に関すること     | 204 件 |
| (2) 路上工事の必要性に関すること   | 80 件  |
| (3) 路上工事の周知に関すること    | 75 件  |
| (4) 路上工事の時期、期間に関すること | 41 件  |
| (5) その他              | 9 件   |

（主なご意見）

### (1) 路上工事全般に関すること 204 件

- 以前より工事時間も少なくなり、騒音も軽減されたように感じます。また、工事後の仕上がりもキレイで、以前あった工事後に部分的な段差ができるといったこともなくなったように思います。  
(女性 20代 新宿区)
- 昔のように昼夜を問わず工事をしたり、必要なだからしょうがないじゃんという一方的な工事の仕方ではなく、最近では、住民や道路を使う人の理解や協力を得られるように配慮がされるようになったと思う。道路工事の現場に並んでいる、カラーコーンに代わるサルやキリンなどの目印がかわいかったり、看板等が見やすくキレイになっているのは、工事に対しての不快感を軽減するので今後ももっと充実して欲しい。  
(女性 20代 八王子市)
- 交通誘導員の指示がわかりにくい。やる気のない雑な誘導を見ると、そこにいる意味を感じない。事前にわかりやすい看板を必ず掲示してくれると、その時期は迂回をしようと心構えができる。  
(女性 30代 中野区)
- 以前と比べると、工事現場が綺麗で整理されているような印象を受ける。  
(男性 30代 台東区)
- 一般人もそうだが、作業者が危険だと感じることが多い。安全対策を一番に徹底すべきだと思う。  
(男性 30代 江東区)
- 案内の人があいさつしてくれると気持ちがいいです。何も声掛けがないと通っていいのかどうかわからない時がある。  
(女性 40代 世田谷区)
- 何年か前は、工事のガードマン達の対応が悪かったりしたのですが、最近は教育ができていていつも感心しています。  
(女性 40代 大田区)

- 狭い道路で行う時は、細心の注意を払って欲しいです。危ない場面がチラホラありました。(男性 40代 板橋区)
- 工事後の段差を無くして欲しい。(男性 40代 墨田区)
- 事故に繋がりがねない現場を何度か目撃した。工事関係者、誘導員ともに無事故の徹底に対する意識を感じなかった。(男性 40代 狛江市)
- 10年以上前と比べると、工事の数が大きく減少したように感じます。警備員が配置され、看板などで迂回路もわかりやすく表示されていると思いますので、工事によって都民へ与える不都合はかなり減っていると感じます。(女性 50代 調布市)
- 最近、同じところを短時間で掘り返していることが無くなったので、何かされているのかなと思っていましたが、実際に取り組みられていると知り納得しました。また、永代通りで工事渋滞に捕まることも無くなり効果を感じています。今後は老朽化したインフラの工事が増えますが、効率化、集中化して環境と社会的負荷を軽減するような工夫をお願いします。(男性 50代 江戸川区)
- 前向きに改善が進んでいるが、騒音、異臭、排気ガス対策をしっかりと実施して欲しい。(男性 60代 足立区)
- 路上工事全般に関して関係各所が連携を取り、無駄な工事を少なくする努力をしていることがよく分かった。私見だが、東京の主要道路はかなり整備されており、日ごろ車を運転しないが、歩道を歩いているだけでも良くわかる。(女性 60代 港区)
- 戦後70年、上下水道、交通道路は、40年、50年と耐用年数が絶っている。そのため、取り換え修理等で工事が多くなるのはやむを得ないと思う。テレビを観ていたら、画期的な工事方法、材料の開発で、遥かに工事が簡単に短くできるようになったと言っていた。その分、工事費も高くなると思うが、その方が良いと思う。(女性 70歳以上 小平市)
- 日ごろは当たり前と意識もせずに暮らしていますが、ライフラインその他当事者の方々の努力と改めて痛感します。ある程度の不便は我慢し、協力する義務は市民にもあると思います。(女性 70歳以上 文京区)

## (2) 路上工事の必要性に関すること 80件

- 年度末になると道路工事が増える気がするの気のせいでしょうか。有益な工事ならば必要だと思いますが、予算調整のためならば好ましくないと思います。(女性 18・19歳 八王子市)
- 路上工事等のインフラ部分は、改修が必要なものもあると思うが、基本的には必要性の有無を随時確認し、可能な限り減らすようにして欲しい。(女性 20代 中央区)

○ 歩道が広くなったり安全になるための工事は、今後も必要だと思うので、最初の工事に伴う不便さはある程度我慢できるものだと思うから、必要なことを率先して進めて欲しい。  
(女性 30代 奥多摩町)

○ 工事中は、どれだけ努力していただいてもデメリット（渋滞、騒音、その他）の方が大きいので、どうしても気持ち的には共感を得られません。ただ、工事後のメリットを考えると、しばらくは我慢しないといけないかなと自分を納得させているのが実態です。  
(男性 40代 小金井市)

○ 1964 東京五輪前後に整備された都内のライフラインの経年劣化等に伴う路上工事は、必要不可欠であり、工事に対して最大限の協力をするのは都民の責務だと思います。そのためには、工事に対する情報の周知徹底を図ってもらいたいと思います。具体的には、工事箇所の周辺の看板等による工事予告の範囲を広げてほしいです。直前に工事表示が現れることによって、迂回出来ずに渋滞が解消しない例を多く経験しています。  
(男性 50代 町田市)

○ 路上工事は、騒音や渋滞を伴うが、生活のライフライン整備の為には必要不可欠だと思っている。工事の頻度を軽減するには、1回の工事内容の精度が問題になってくると思われる。その辺の対策を研究して欲しい。  
(女性 60代 杉並区)

○ ライフラインの老朽化対策は、待ったなしと思っているので、後は事業者間の調整で、至近年度繰り返し工事の防止が一番重要なことだと思う。(男性 70歳以上 武蔵野市)

### (3) 路上工事の周知に関すること 75件

○ 騒音や渋滞などの発生は、ある程度仕方のないことだとは思っているので、工事の周知などで理解を求めることが重要だと思う。  
(男性 18・19歳 杉並区)

○ 新規に何かを開発する工事は、目立ちやすいこともあり、多少の不満があっても理解されやすいと思います。一方で、保守工事は分かりやすい形で利便性の向上を実感することができず、不満が解消されにくいように思えます。極端な考えかもしれませんが、工事をしないことで発生するリスクなどを明示すると、地域住民も自分事として興味や理解を示しやすくなるのではないかと思います。  
(男性 20代 江東区)

○ 取り組みについては、チラシの配布が非常に有効だとは思いますが、ただ、さほどチラシの配布が実施されていることを実感していることがないです。積極的に取り組んでいただきたいです。  
(男性 30代 青梅市)

○ やはり、事前の近隣住民への周知が大切だと思います。車庫からの車の出し入れも含めて、事前に分かっていると予測した行動を立てやすいからです。(女性 40代 練馬区)

○ 最低限必要な路上工事はすべきです。インターネットにより路上工事案内を充実させてください。  
(男性 50代 府中市)

○ 路上工事の表示は、もっと大きな字で色なども変化をつけ、高齢者や子供にもわかるようにした方が良いと思う。  
(女性 60代 八王子市)

○ 今回のアンケートを通して、路上工事対策について種々の取組みが行われていることが理解できたが、苦情などの相談の窓口なども含め、その周知は十分徹底されているとは言えない。もっと都民に対して積極的な広報活動が展開されて良いのではないかと。  
(男性 70歳以上 中央区)

#### (4) 路上工事の時期、期間に関すること 41件

○ 生活の妨げになるので交通量の少ない時間にやって欲しい。(男性 18・19歳 文京区)

○ 生活道路に関して、昼間工事で迂回させられたことがあった。車線道路ならまだしも、狭い生活道路で昼間の工事は良くないと思う。歩行者も迂回させられていたため、影響が出た。時間帯、時期は繁忙期だけでなく、しっかりと調整していただきたい。  
(男性 20代 葛飾区)

○ 通勤時間帯に混む道路の工事は、通勤時間帯は避け、昼間の時間帯と、夜間の時間帯の工事の2交代制の工事をすると短期間で済むのではと思う。(女性 40代 三鷹市)

○ 率直に申し上げて、相変わらず年末や年度末の時期に工事が集中しているように感じます。もっと工事実施時期を分散して、近隣住民の不自由さを緩和するよう徹底いただきたいと  
(男性 60代 大田区)